

CIO 50

Awards & Conference

JAPAN

CIO 50 Awards & Conference Japan 2026

イベント概要	CIO 50 Awards & Conference Japan とはどういうイベントですか	日本の CIO・IT リーダーの功績を称える表彰制度とカンファレンスを統合したイベントです。 CIO.com が米国で 30 年以上にわたり展開してきた CIO アワードプログラムは、米国・英国・シンガポール・オーストラリア・ドイツ・インドなど、世界の主要テクノロジー市場で毎年開催されています。 2025 年より日本でも開始し、日本発の優れた取り組みを世界の CIO コミュニティへ発信する新たな接点となるイベントです。
昨年との相違点	CIO30 と CIO50 の違いは	CIO.com が米国で 30 年以上にわたり展開してきた CIO アワードプログラムを 2025 年より日本でも開始、初年度は 30 人の功績を表彰いたしました。本年 2026 年は、表彰部門を 4 つ増設し、計 8 部門とし、50 人の功績を表彰させていただきます。 主な違いは以下の 2 点です。 1. 表彰規模の拡大：表彰部門を 4 部門増設し、計 8 部門・50 名を表彰（昨年は 30 名） 2. カンファレンスの新設：昨年はアワード表彰式のみでしたが、今年はカンファレンスを同日開催

アワードの概要・位置づけ		
カンファレンス	カンファレンスではどのような内容が行われますか？	昨年度受賞企業やゲストスピーカーによる基調講演、およびスポンサーセッションを予定しております。
アワード概要	CIO 50 Awards Japan とはどのようなアワードですか？	CIO.com が米国・英国・豪州・ASEAN など世界各国で展開する「CIO アワード」の日本版です。 CIO / IT 部門リーダー個人のリーダーシップ・ビジネス成果・社会的インパクトを評価し、50 名を表彰します。 2026 年の部門構成（8 部門）： 【継続】ストラテジー / DX / AI / タレント（人材育成） 【新設】イノベーション（ビジネス変革） / カルチャー（企業文化） / グロース（SMB） / Next CIO 賞（次世代 IT リーダー） 更に、上記よりグランプリ を選抜します。 また、2026 年は表彰式に加えてカンファレンスを同日開催いたします。 受賞者（企業様）には、別途動画インタビューなどのご協力をいただきます。
他社との差別化	他社の類似イベントとの違いは？	主な差別化ポイントは 3 点です。 ① グローバルブランド連動：CIO.com（30 年以上の歴史）のグローバルアワードと連動。受賞者が国際コミュニティにて発信できる唯一の日本の枠組み。 ② CIO 個人および企業表彰：チーム・オブ・ザ・イヤーでは主に先進的、変革的、社会的な取り組みを行う企業を表彰、インディヴィジュアル・オブ・ザ・イヤーにおいては CIO というリーダー個人を表彰。

		③ オープン審査：オープンノミネーション＋独立外部審査員による公正な選考。 他社ケースの場合： • 編集部が非公開で表彰者を選定 • アワード授与のみの授賞式開催
受賞者の質	受賞者はどのような企業・人物ですか？	2025 年（CIO 30）では、東証プレミア・スタンダード上場企業が応募企業の 2/3 以上を占めました。授賞式参加者は 60 名強。大手製造業・金融・IT サービス・エネルギーなど幅広い業種の大企業 CIO が中心です。 2026 年（CIO 50）では SMB 向けグロース賞・Next CIO 賞が新設され、さらに多様な層へのリーチが可能になります。

スポンサーシップ・協賛内容		
協賛 Tier	協賛内容と価格帯を教えてください。	複数のスポンサープログラムをご用意しています。詳細は別途、スポンサーシップ資料をご案内いたします。 Sales-JP@FoundryCo.com にお問い合わせください
協賛特典	協賛するとどのような露出・特典がありますか？	・授賞式でのロゴ露出（会場・映像・印刷物） ・CIO.com Japan へのスポンサーコンテンツ掲載 ・受賞者とのネットワーキング機会 ・受賞者インタビュー記事へのブランド連動 ・プレスリリースへの協賛企業としての記載 ・特設サイト上でのインタビュー掲載 詳細はスポンサーレベルによって異なります。
ROI の観点	協賛の費用対効果をどう見ればよいですか？	スポンサーシップの主な価値は 3 点です。 ① エグゼクティブリーチ：大企業 CIO を中心とした 50 名の受賞者＋授賞式参加者への直接的な接点あり。展示会型と異なり、確実に IT の最高意思決定者にリーチ。

		② コンテンツ連動：CIO.com Japan の記事・インタビューとのブランド連動により、授賞式後も継続的な露出が可能。 ③ ブランド権威性：「公正な外部審査で選ばれたCIO」を協賛することで、貴社ブランドの信頼性・権威性が向上。
協賛申込	賛の申し込み方法・締め切りはいつですか？	詳細は別途ご案内いたします。 Sales-JP@FoundryCo.com にお問い合わせください

授賞式・イベント詳細		
開催日時・会場	2026 年の授賞式はいつ・どこで開催されますか？	2026 年 12 月 11 日（金）16 時～ グランドハイアット東京にて開催されます。 詳細はこちらをご覧ください。
参加人数・構成	当日の参加者はどのような方々ですか？人数は？	CIO・CDO・CTO・CAIO など CxO および IT 部門管理職が中心です。2025 年（CIO 30）実績では 60 名強が参加。2/3 以上が東証プレミア・スタンダード上場企業の方々でした。 2026 年（CIO 50）は受賞者 50 名への拡大に加え、SMB 層・次世代 IT リーダー層も参加予定です。
協賛ブース・展示	当日、展示ブースや配布物の設置は可能ですか？	展示ブースのご提供はありません。
オンライン配信	イベントのオンラインでのライブ配信はありますか？	オンラインでのライブ配信は現時点で予定しておりません。 Conference は是非、会場にてご参加ください。 Awards の部は、招待制となります。

コンテンツ・広報への活用		
PR・リリース連動	協賛企業として、受賞者のプレスリリースに社名を記載してもらえますか？	協賛内容によって対応が異なります。 主要スポンサーは、CIO.com Japan からのプレスリリース（PR Times 配信含む）に協賛企業として記載されることが想定されます。詳細はスポンサー資料でご確認ください。
ロゴ使用	「CIO 50 Awards Japan 協賛企業」としてロゴを自社 Web サイトや営業資料に使用できますか？	はい、協賛企業様向けの公式ロゴデータ（「CIO 50 Japan Official Sponsor」等）を提供いたします。 利用ガイドラインに沿ってご使用ください。
コンテンツ共同制作	受賞者インタビューなどのコンテンツを活用した共同マーケティングは可能ですか？	一部のスポンサーは、CIO.com Japan の受賞者インタビューへのブランド連動（冠記事・タイアップ等）が可能です。詳細はスポンサーシップ資料にてご確認ください。

「CIO 50 Awards Japan」への応募について		
評価ポイント	高評価のポイントは技術的な先進性でしょうか。	技術の先進性だけでは不十分です。 「その技術がビジネス成果（売上・利益・競争優位）にどう貢献したか」が最重要ポイントになります。審査基準の原則は「絶対評価」であり、他社比較ではなく、ビジネスへの実質的インパクトで判断されます。
	応募書類で特に重視されるポイントは何ですか？	定量的データ（売上成長率・コスト削減額・顧客満足度スコアなど）を伴う具体的な成果のエビデンスが重要です。 「導入した」「推進した」という記述ではなく、「その結果として何が数値として変わったか」を具体的に記載してください。 また、単なる社内の成功事例ではなく、業界・社会への波及効果や示唆も評価されます。
	応募できる企業・個人の条件はありますか？	企業・PR 担当・ベンダー等、誰でもオープンにノミネーション・応募が可能です。応募は特定の IT 部門規模や業種に制限されません。ただし、CIO / IT 部門リーダー個人の取り組みが評価対象となります（企業・プロジェクト単体の表彰ではありません）。

応募の条件		ただ、昨年の実績としての評価選定は、IT 課題や挑戦など実体験を踏まえた CxO、IT リーダーご本人が応募されるケースの方が選定されやすい傾向にあります。
	複数部門に応募できますか？	複数部門への応募は可能です。ただし、同一企業が複数部門で受賞する場合は最大 2 部門までとなります。 各部門の審査基準（ストラテジー・AI・DX・タレント）は異なるため、それぞれの応募書類を個別に準備することを推奨します。
審査方法	審査は誰が行いますか？	CIO.com Japan 編集部による一次審査に加え、外部の独立した審査員パネル（国内審査員・国外審査員）が最終評価を行います。国内審査員は対面ディスカッションで各部門の受賞者を選定し、国外審査員がリモートで最終確認を行います。 国内審査委員は、元 CIO、アカデミック出身ほか、経産省の DX 銘柄の審査員なども含まれております。
	評価方法について	各審査員が担当部門すべての応募企業に対して 100 点満点でスコアリングします。 90～100 点＝卓越（強く推薦）、 80～90 点＝優秀（推薦）、 70～80 点＝良好、 70 点未満は受賞基準に達しない 相対評価ではなく絶対評価が原則であり、優れた応募が多い年は複数に高得点がつくこともあります。 そのため、僅差による点数差があまりつかない場合、審査委員により推薦、ディスカッションを通じて複数社の審査委員特別賞を授与するケースもございます。